

2013年9月1日  
在アンゴラ日本国大使館

## アンゴラ情勢報告（2013年8月）

### 主な出来事

- 大統領の私的休暇からの帰国
- 28日、ドス・サントス大統領の誕生日
- アンゴラ南部での干ばつ被害
- 政策金利7ヶ月ぶりの利下げ（10%⇒9.75%）

### 【内政及び経済】

**大統領の私的休暇からの帰国**：10日、ドス・サントス大統領は長期私的外遊先バルセロナから、直接、赤道ギニアで開催されたギニア湾委員会へ出席したあと、約1ヶ月半ぶりに帰国した。

**大統領の誕生日**：ドス・サントス大統領は28日に誕生日を迎え（71才）、同日は国中が大統領の誕生日を祝い、首都ルアンダでは、大統領官邸にて式典が行われた。式典の後、大統領は市内のパルメイラス・クラブに向かい、数百人が参加する夕食会に出席。また、与党MPLA政治局は、マスコミに対し大統領の功績を称えるメッセージを発表した。

**学校給食制度**：21日、閣僚会議にて、生徒の学力向上及び勉強の効率化を図るための「学校給食制度」導入に関する大統領令が承認された。

**干ばつ被害**：アンゴラ南部、クネネ州・ウイラ州・クアンドクバンゴ州で干ばつ被害が続いており、大統領を中心とする閣僚級経済委員会は、同地域の住民約64万人への食料援助を決定した。

**金融政策**：中央銀行（BNA）は、7月の月間物価上昇率が0.52%と観測史上最低値を記録したことから、インフレ抑制が順調に進んでいると判断し、政策金利の基礎利率を0.25%引き下げ、9.75%とした。今年1月以来10%に据え置かれていた金利が7ヶ月ぶりに引き下げられた。

**石油**：上半期、石油収入が前年同期比で13%減少。約3億クワンザの減少で約20億クワンザへ。ただし、本年度予算で想定された生産額の55%をすでに達成。

**自動車**：第2四半期、自動車輸入台数が前期比4.56%減少した。車両838台の減少で1万7548台。

## 【外政】

**SADCの商業自由地域**：アンゴラはSADC自由貿易圏（FTA）への参加を見送った。SADC首脳会議に出席したパカヴィラ商務大臣は、その理由として、同FTAはエネルギー・農業・その他関連分野が多岐にわたり、アンゴラ国内での調整が完了していないためである旨述べた。

**アンゴラ、南ア、コンゴ(民)首脳会議**：23日、カビラ・コンゴ（民）大統領、ズマ南ア大統領は、アンゴラを訪問し、3国間首脳会合を行った。3者は、コンゴ(民)東部の情勢不安等について話し合いをした。そして、安全保障・経済・外交・行政について3国間で協力及び対話することで合意。また、3者は地域開発に資する港、水力発電等についての協力に向けた覚書に署名した。

**ポルトガル・アンゴラ関係**：29日、アントニオ・ピーレス・デ・リマ経済大臣がヴィセンテ副大統領を初表敬した。会談では、これまでのアンゴラ・ポルトガル二国間関係を評価したうえで、ポルトガル企業の国際化について協議した。

**ベトナム・アンゴラ関係**：8日、ルアンダにて、ベトナム外務大臣がヴィセンテ副大統領を訪問し、農業、教育、商業、建設及び投資等様々な分野での2国間協力の継続・促進についての具体的な方策について話し合った。

## 【文化スポーツ・その他】

### スポーツその他

- ・31日、アンゴラ代表男子バスケットボールチームは、コートジボワールのアブディジャンで行われた2013年アフリカ大会にて、決勝でエジプトを破り優勝（11回目）。
- ・5日付、*ジヨルナル・デ・アンゴラ*紙にて、日本政府によるカポソカ音楽学院への援助が紹介された（日本政府は同音楽学院に欠けていたピアノの購入代金を援助）。
- ・7月、エスコム・グループは、4つの高層ビルから成るルアンダ市所在の「スカイタワー」を2004年の着工から9年かけ、建設を完工させた。

（了）